


















回覧 所長	副所長	検査課長	主任	大田 課員
-------	-----	------	----	-------

病性診断記録簿

術者:

整理番号: 22-5	受付日:平成 22年 4月 9日	診断名:
畜主氏名・住所	飼養状況	担当獣医師・依頼者
氏名: [Redacted]	等価牛 + 育成 13 4	所属: 開業
住所: 新居町大字 [Redacted]		氏名: [Redacted] vet
TEL: [Redacted]		TEL: [Redacted]
畜種: 牛	品種: 黒和	性別: ♂ (♀)
		年齢: 7才 H14.9.23生
		頭羽数: [Redacted]
依頼した理由	異常産	呼吸器病
		消化器病
		急死
		その他 ()
材料の種類	血清	糞便
		その他 ()
		検査の種類
		細菌
		ウイルス
		生化学 ()
発生状況・臨床所見・病歴 (ワクチン・治療状況・初乳摂取等を含む)		
4/7 朝 40.3度 流涎 中国ワラ 1月購入		
11時 37.3度 4/21.11.9生 6産月 母 混合飼料		
4/8 38.3度 流涎 3/25 5産月 固食 下痢 脂膿の処置		
4/9 38.1度		
産後の等入口、町内の好娘牛21 購入		
イソIP: 7140		
オ-ツリ: オ-ストリ		
耳標: [Redacted]		
各種検査成績		
歯床柄にびらん、加皮形成 (4/9 98% 混見)		
舌中央部に油断 びらん		
4/8 15:00 の診療時には鼻行呼吸であった。		
その他 飼養中に異常なし		

鑑内

所長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
				 	   
平成22年 4月 9日		金曜日	天気	雨	
病性鑑定・病性診断受付	鑑定	22M-2 (4. 清洲)			
	診断	22-1 22-5 (4. 都農), 22-6 (BL検査) (水沼 鑑)			
業務内容	細菌	22M-1 郵送 20=- 22M-2			
	病理	包埋 21M-122, 21N-25, 26, 22F-1, 22M-1 成造書作成 21M-121, 123, 21F-25			
	ウイルス	細胞継代 710X分離 (21-150, 21-151) ICDR試験			
	生化学	21-147 VE測定			
	BSE	NK10			
出張	課長		ウイルス	 牛伝(検査)  ✓	
	主幹	牛伝(検査)  /			
	副主幹		生化学	 AD(検査) ✓	
	細菌		BSE		
	病理	牛伝(検査)  /			
時間外勤務	課長		ウイルス	 17:30~20:30	
	主幹	17:30 - 20:30		 17:30~19:30	
	副主幹	〃	生化学	✳	
	細菌		BSE		
	病理	17:30 ~ 20:30			
その他	焼却炉使用 (1520l → 1320l)				

獣医師より病性診断の依頼（舌と上唇の痂皮）（4/9、17:00頃）

畜主

都農町

飼養頭数 和牛繁殖農家 成牛13頭 子牛4頭 合計17頭
給与飼料：稲ワラ（中国産1月まで給与）、オーツヘイ（オーストラリア産）
イタリアン（アメリカ産）

1、発生状況

- ・ 4/7：1頭が発熱で初診（40.3度）
- ・ ビクタス、マイシリンで治療（9日まで）
- ・ 4/8：発熱なし
- ・ 4/9：流涎、食欲なし。発熱なし。
上唇、歯肉部に小豆大痂皮3カ所形成
舌に白色変性部あり。

他の牛は異常なし。

2、後藤主幹、片山主任技師、齊藤主任技師：18:15現地へ出発

3、現地より19:45連絡

- ・ 舌：1カ所びらん。水疱なし。
- ・ 上唇と上唇の内側に数個の痂皮を認める。水疱はなし。
- ・ 蹄には水疱なし
- ・ 同居牛には異常なし。
- ・ 畜主は海外渡航歴なし
- ・ 痂皮とよだれを病鑑材料として持ち帰る。
- ・ 畜主には異常があったらすぐに連絡するように伝える。

回覧 所長	副所長	検査課長	主幹	課員
衛生課長				

病性診断記録簿

術者:

整理番号: 22-5	受付日:平成 22年 4月 17日	診断名:
---------------	-------------------	------

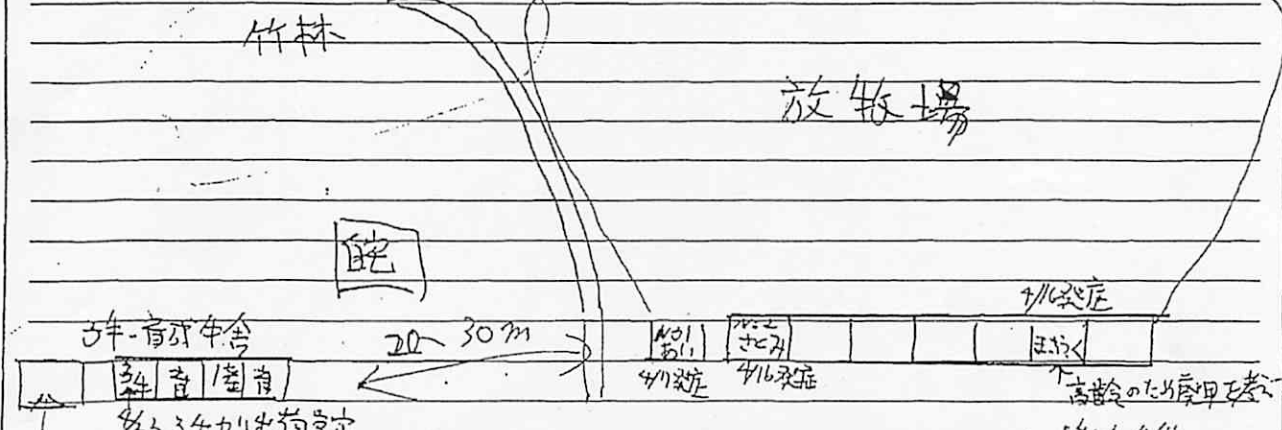
畜主氏名・住所	飼養状況	担当獣医師・依頼者
氏名: 住所: TEL:		所属 氏名 TEL

畜種	品種	性別	♂	♀	年齢	頭羽数	
依頼した理由	異常産	呼吸器病	消化器病	急死	その他 ()		
材料の種類	血清	糞便	その他()	検査の種類	細菌	ウイルス	生化学 ()

発生状況・臨床所見・病歴 (ワクチン・治療状況・初乳摂取等を含む)











No1 母牛, H4.7.23生 (自家産)	No2 子牛, H4.7.16 (自家産)	No3 子牛, H4.11.35 (自家産)
4/9 発熱 (40.3) 11時 体温 38.3度 流産 ビクダズ	4/16 39.3 発熱 流産 アスピリン+ナトリウム 食欲なし	4/16 発熱 流産 (母牛(4日産)) 食欲なし
4/8 38.3 流産 ビクダズ 4/9 38.1 ビクダズ、2イシリン 4/10 12 2イシリン		
4/9 乳房 樹皮板にヒソカ形成 舌中央部に1ヶ所ヒソカ	4/16 樹皮板にヒソカ形成 舌にヒソカ形成 (母牛は4/16(1))に破産	4/17 舌先端にヒソカ形成
4/17 ヒソカ形成日限は、 検材: 全血、血清	検材: 全血、血清、乳液 茶燻	検材: 全血、血清、乳液







各種検査成績


















育成頭
3牛頭

■に5体の牛舎、水牛1体(600m)
 ・農場周辺は、竹林、竹林、茶畑に囲われて13.
 ・成牛8頭は放牧場に放牧、工場の時間に牛舎に帰ってくる。
 ・作業は、子牛育成舎から行われる指示。
 ・牛舎の外に消毒槽設置

所 長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
					
平成22年 4月17日		土曜日	天気	晴れ	
病性鑑定・病性診断受付	鑑 定				
	診 断				
業務内容	細 菌				
	病 理				
	ウイルス				
	生化学				
	B S E				
出張	課 長		ウイルス	牛伝疾(都農町)  	
	主幹			11:00~15:00	
	副主幹	牛伝疾(都農町) 	生化学		
	細 菌	11:00~15:00			
	病 理	牛伝疾(都農町) 	B S E		
時間外勤務	課 長	11:00~15:00	ウイルス		
	主幹				
	副主幹		生化学		
	細 菌				
	病 理		B S E		
その他					

所 長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
					
平成22年 4月18日		日 曜日	天気		
病性鑑定・病性診断受付	鑑 定				
	診 断				
業務内容	細 菌				
	病 理				
	ウイルス	PCR (BT, Ibaraki, PPP, IBR, 牛エロ口, BVD)			
	生化学				
	B S E				
出張	課 長			ウイルス	
	主幹				
	副主幹			生化学	
	細 菌				
	病 理			B S E	
時間外勤務	課 長			ウイルス	斎藤 13:30~15:30
	主幹				
	副主幹			生化学	
	細 菌				
	病 理			B S E	
その他					

所長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
				 	 
平成22年 4月19日		月 曜日	天気	雨	
病性鑑定・病性診断受付	鑑定	22T-4			
	診断				
業務内容	細菌	22T-4			
	病理				
	ウイルス	PCR (Ibaraki, PPP) 稚鷄検査			
	生化学				
	BSE	NK 9			
出張	課長	事務主任(沼津発着)	ウイルス	牛伝疾(都農町)  	
	主幹	牛伝疾(都農町) 		東京(動物研) 	
	副主幹		生化学	 北御町(総合研) 	
	細菌				
	病理	牛伝疾(都農町) 	BSE		
時間外勤務	課長		ウイルス		
	主幹				
	副主幹		生化学		
	細菌				
	病理		BSE		
その他					

不明疾病の発生届出(病鑑No.1)

- 1 届出年月日時間：平成22年4月9日17時(1回目)
平成22年4月16日16時30分(2回目)
- 2 届出者
開業獣医師 [REDACTED]
- 3 発生農家
農家名： [REDACTED]
住所：宮崎県児湯郡都農町大字川北 [REDACTED]
- 4 飼養頭数：黒毛和種繁殖牛成牛：9頭、育成牛：3頭、子牛：4頭
- 5 家畜保健衛生所立入調査
4月9日(1回目)
4月17日(2回目)
- 6 病畜頭数：3頭(4月17日時点)

病畜の概要

名号(生年月日)	①あい(H14.9.23 生)	②さとみ(H16.7.16 生)	③まさふく(H11.3.5 生)
症状	・4/7:発熱(40.3度) ・4/9:流涎、食欲なし。38.1度 ・4/17 時点治癒	・4/16:発熱、流涎、食欲なし。 ・4/17 も同じ症状	・4/16(18:00):流涎確認 ・4/17:発熱(41.0度)、流涎、食欲なし。
病変	・4/9(夕方):舌に1か所び爛。歯床板に数個のび爛、痂皮形成。水泡なし。蹄には水泡なし。(開業獣医師、家保確認) ・4/17(昼):舌、歯床板のび爛、痂皮は認めず。(家保確認)	・4/16(18:00):舌と歯床板にび爛確認、水泡は認めず。(開業獣医師確認) ・4/17(昼):上記の病変を家保確認。	・4/16(18:00):流涎はあるが病変なし。(開業獣医師) ・4/17(昼):舌先端にび爛確認。水泡は認めず。他は病変なし。(家保確認)
治療	・4/7~4/9:ピクサ ・4/8.9.11.12:マイリン	・4/16:7ピシナトリウム	

④ほたる(18.6.7 生)：4/19 発熱(41.2度)、流涎、歯床板に丘疹(水疱ではない)

- ・4/9 時点では、発症牛(病変確認)は1頭のみ
- ・4/16(夕方):新たに1頭に病変を確認。病変はないが流涎のみ1頭を確認(開業獣医師確認)。その他の同居牛は異常なし。
- ・4/17(昼):流涎のみの牛にも病変確認。その他の牛は異常なし。
- ・成牛8頭については、昼間は放牧場に放牧。放牧場内には有毒植物なし。放牧場外にワラビ。

7 給与飼料

- ・ 稲ワラ(中国産)：3月中頃まで、現在は自家産稲ワラ
- ・ オーツヘイ (オーストラリア産)
- ・ イタリアン (アメリカ産、自家産)
- ・ 配合飼料：農協

8 畜主の最近の海外渡航歴はなし

9 農家への指示

- ・ 牛の移動自粛
- ・ 作業は子牛、育成牛舎から行う。
- ・ 牛舎の入口に消毒槽設置すること。
- ・ 異常牛が出たらすぐに連絡すること。

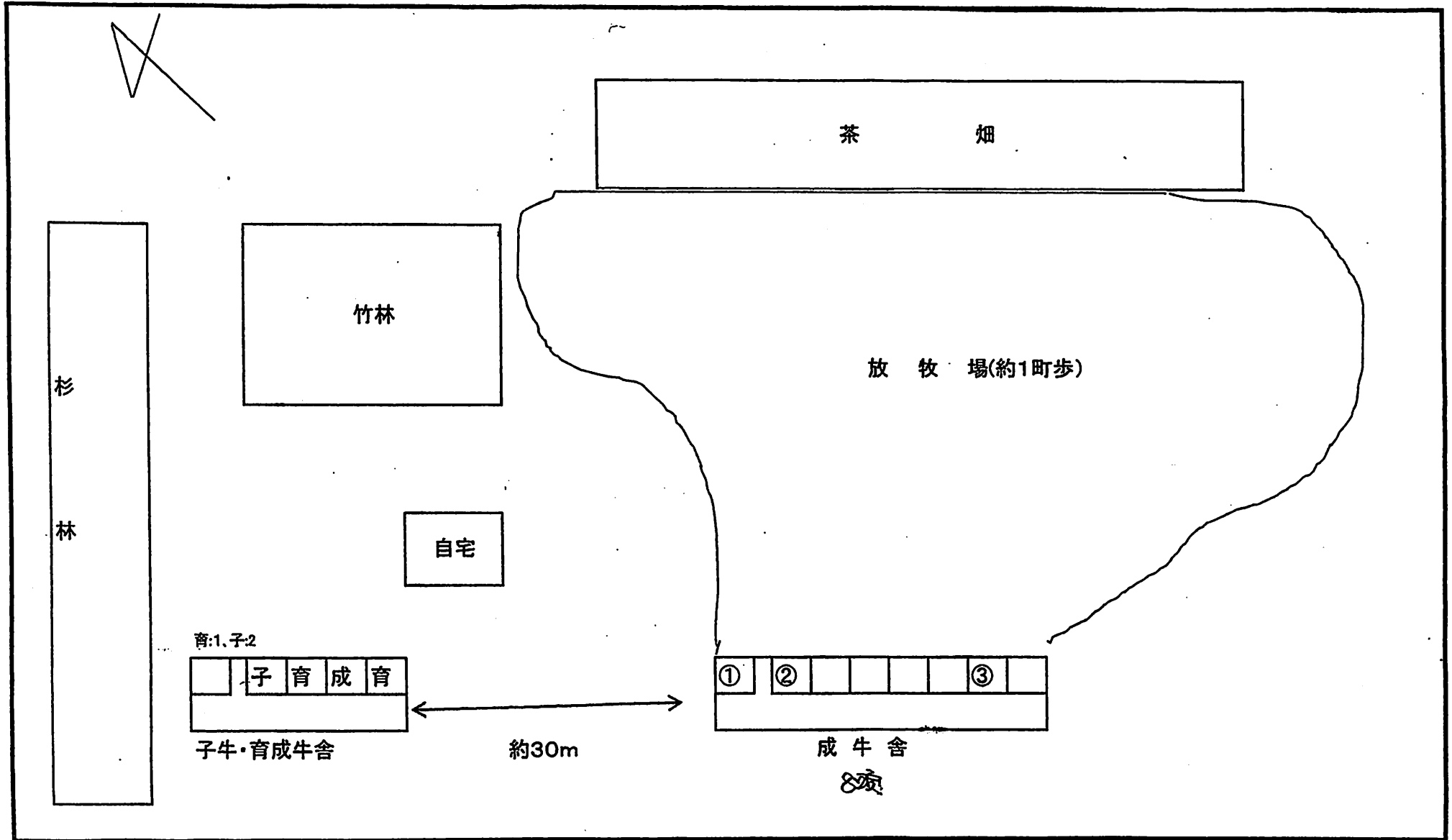
9 その他

- ・ 4月23日に子牛せり予定。

10 家畜保健衛生所のPCR検査結果(4月19日)

- ・ ブルータング
- ・ パラボックス
- ・ BVD
- ・ IBR
- ・ イバラキ
- ・ 以上の疾病についてすべてPCR (-)

牛舎の見取り図



検体リスト

2010/4/19

検体No.	個体識別番号	名号	血液	スワブ	痂皮	備考	生年月日	月齢	性別	備考	個体識別	
1	0		○			子牛・育成牛舎					×	
2	0		○			子牛・育成牛舎	H21.9.29	6.6	メス	12の子	○	子牛
3	0		○			子牛・育成牛舎	H21.11.9	5.3	メス	16の子	○	子牛
4	0		○			子牛・育成牛舎	H21.7.20	9.0	オス	11の子	○	子牛
5	0		○			子牛・育成牛舎	H20.5.10	23.2	メス	13の子	○	育成牛
6	1		○			子牛・育成牛舎	H15.11.15	77.0	メス		○	成牛
7	0		○			子牛・育成牛舎	H22.4.7	0.4	オス	6の子	○	子牛
8	0		○			子牛・育成牛舎	H20.8.19	19.9	メス	12の子	○	育成牛
9	1		○			成牛舎	H10.3.11	145.0	メス		○	成牛
10	1		○			成牛舎	H17.2.24	61.6	メス		○	成牛
11	1		○			成牛舎	H9.8.11	151.9	メス		○	成牛
12	1		○			成牛舎	H13.9.15	102.9	メス		○	成牛
13	0	ほたる	○	○		成牛舎・発症牛	H18.6.7	46.3	メス	11の子	○	成牛
14	1	まさふく	○	○	○	成牛舎・発症牛	H11.3.5	133.2	メス		○	成牛
15	1	さとみ	○	○		成牛舎・発症牛	H16.7.16	69.0	メス	11の子	○	成牛
16	1	あい	○			成牛舎・発症牛(治癒)	H14.9.23	90.7	メス		○	成牛